

2025年度（2026年3月期） 第3四半期決算説明資料

2026年2月9日

H.U.グループホールディングス株式会社
(証券コード: 4544)

- ※ 本資料では、記載している部分およびEBITDA(営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費)の数値を除いて、日本基準(J-GAAP)に基づく数値にて開示しております。
- ※ 「親会社株主に帰属する当期（四半期、中間）純利益/純損失」を「当期（四半期、中間）純利益/純損失」と省略する場合があります。
- ※ 数値は原則として表示数値の単位未満で四捨五入しております。
- ※ 各事業名等については以下のとおり省略する場合があります。
 - 検査・関連サービス事業 : LTS (Lab Testing and its related Services)
 - 臨床検査薬事業 : IVD (In-Vitro Diagnostics)
 - ヘルスケア関連サービス事業 : HS (Healthcare-related Services)
- ※ 本資料で用いている為替レートは以下の通りです。

2024年度1-3Q	: 1USD = 152.57 JPY	1EURO = 164.82 JPY
2025年度1-3Q	: 1USD = 148.76 JPY	1EURO = 171.86 JPY

Executive Summary

連結

- 営業利益は約41.8億円 (YoY : +15.2億円)
- M&A関連費用 (4.7億) の影響を除いた実質的な営業利益は約46.5億円

LTS

- 遺伝子関連検査および特殊検査が堅調に成長
- 販売価格の適正化を含めた限界利益の増加等により、H.U. Bioness Complex関連のコスト増 (減価償却費等) を吸収し、増益を達成
- 3Qの営業利益は**黒字化**

IVD

- NEURO売上は引き続き高成長 (1-3Q : 約60億円、YoY 2倍)
- CDMO売上は海外市場の環境変化の影響等によって減収

HS

- 滅菌・手術関連事業が堅調に推移し、増収増益
- ケアレックス社株式譲渡は12/1にクローリング完了

2025年度通期連結業績予想の見直し

売上高 : ケアレックスが持分法適用会社となったことによる影響

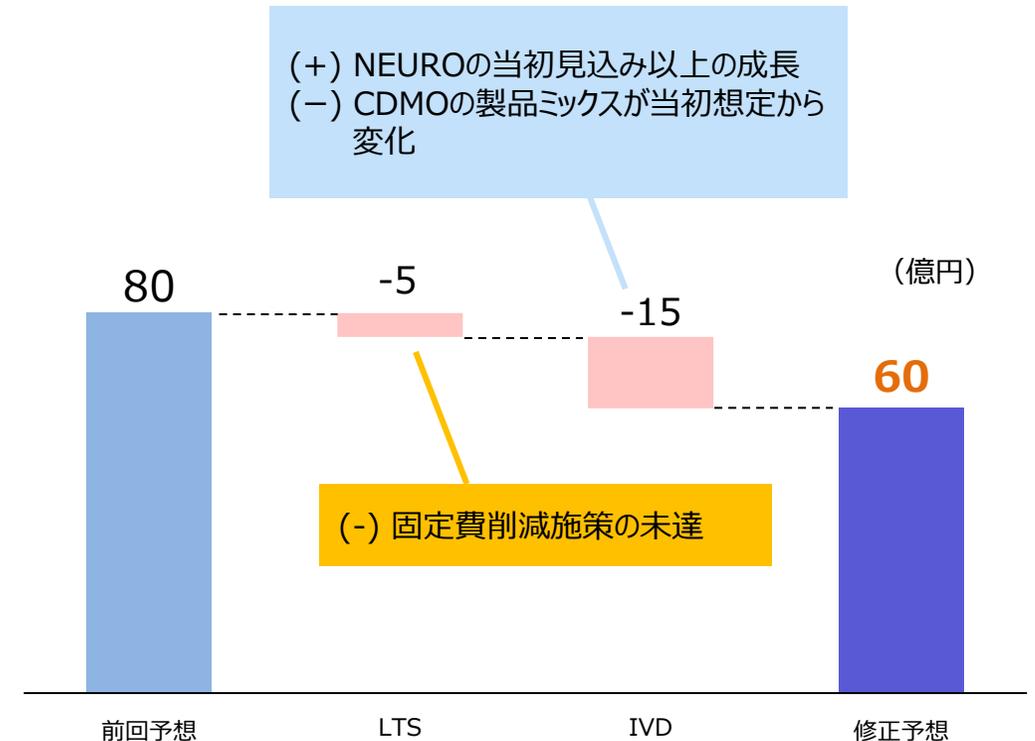
EBITDA/営業利益 : LTS_固定費削減施策の未達
IVD_CDMO事業の製品ミックスが当初想定から変化

経常利益 : 営業利益見直しによる影響

	前回予想 ※	通期見通し (2月9日公表)	対前回予想比	
			(億円)	
売上高	2,520	2,500	-20	-0.8%
LTS	1,600	1,600	-	-
IVD	600	600	-	-
HS	320	300	-20	-6.3%
EBITDA	305	280	-25	-8.2%
LTS	145	140	-5	-3.4%
IVD	170	155	-15	-8.8%
HS	35	30	-5	-14.3%
全社	-45	-45	-	-
営業利益	80	60	-20	-25.0%
LTS	5	0	-5	-
IVD	115	100	-15	-13.0%
HS	18	18	-	-
全社	-58	-58	-	-
経常利益	60	40	-20	-33.3%
当期純利益	70	70	-	-

※ 2025年9月25日公表

営業利益見直しの内訳

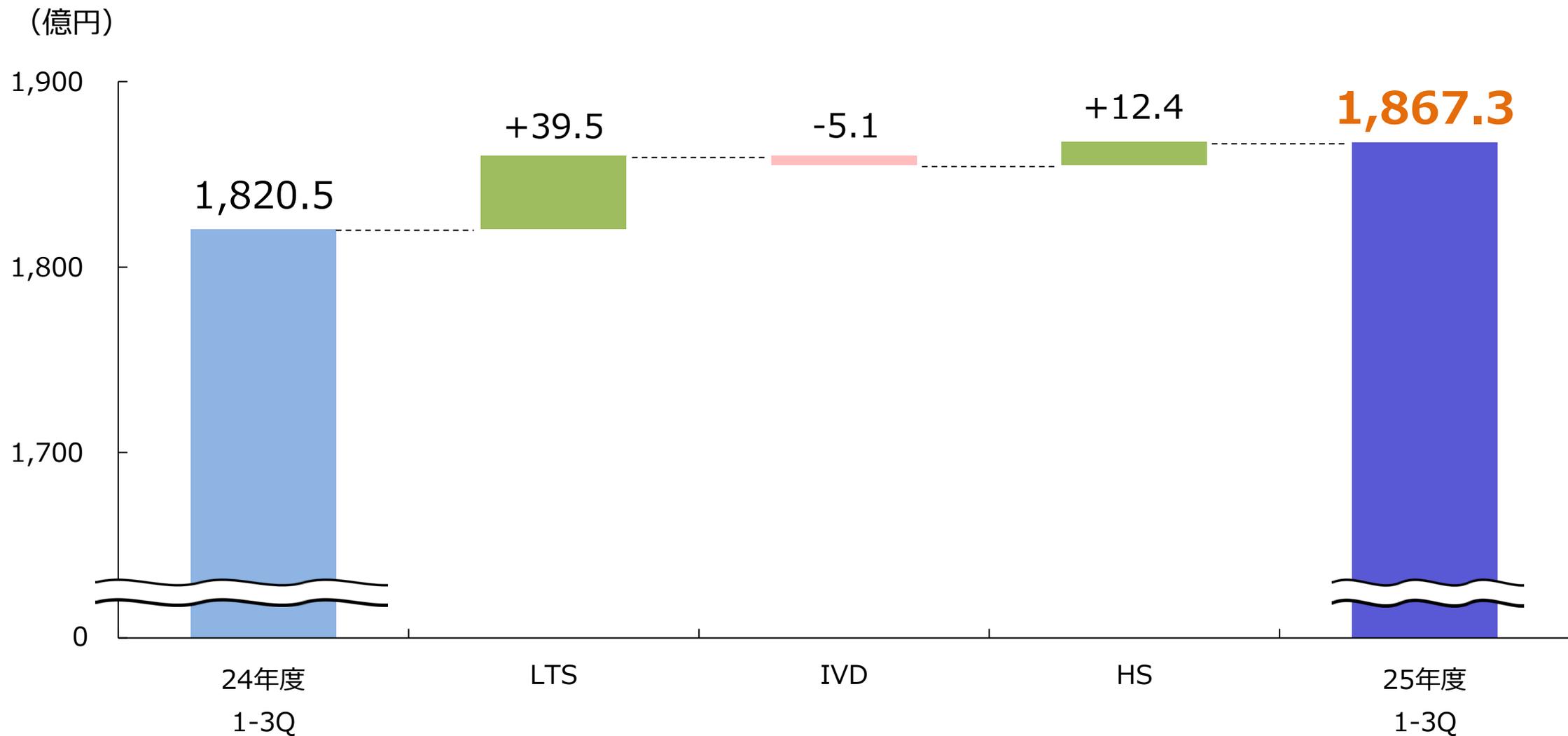


連結業績（対前年同期比）

(億円)

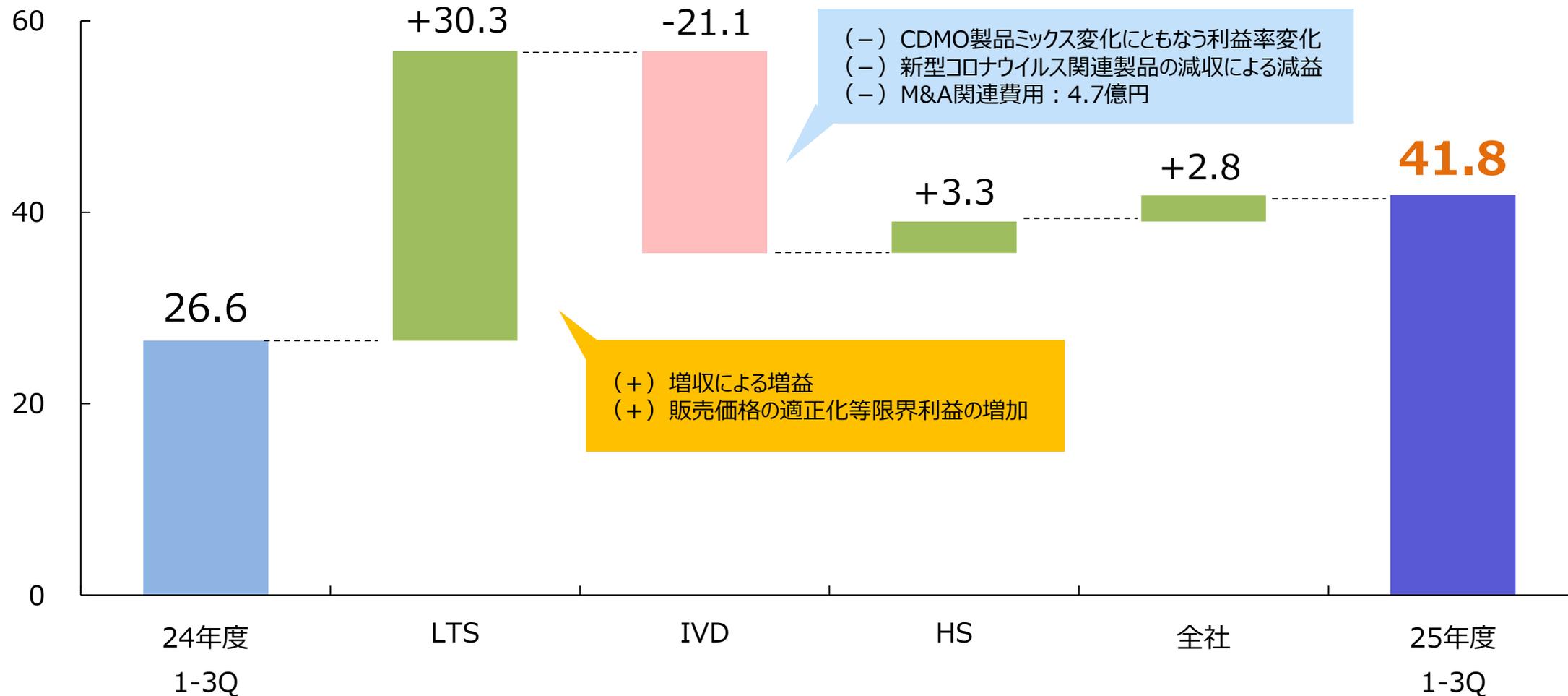
	24年度 1-3Q		25年度 1-3Q		対前年同期比	
	実績	利益率	実績	利益率	増減	
売上高	1,820.5		1,867.3		+46.8	+2.6%
LTS	1,150.6		1,190.1		+39.5	+3.4%
IVD	450.7		445.6		-5.1	-1.1%
HS	219.2		231.6		+12.4	+5.7%
EBITDA	180.6	9.9%	207.4	11.1%	+26.8	+14.8%
LTS	55.4	4.8%	97.7	8.2%	+42.3	+76.4%
IVD	133.0	29.5%	113.9	25.6%	-19.1	-14.3%
HS	25.4	11.6%	27.6	11.9%	+2.2	+8.7%
全社	-33.2		-31.9		+1.4	-
営業利益/損失	26.6	1.5%	41.8	2.2%	+15.2	+57.2%
LTS	-35.9	-3.1%	-5.6	-0.5%	+30.3	-
IVD	93.2	20.7%	72.1	16.2%	-21.1	-22.6%
HS	12.8	5.9%	16.1	7.0%	+3.3	+25.5%
全社	-43.6		-40.8		+2.8	-
経常利益	42.9	2.4%	14.4	0.8%	-28.5	-66.4%
四半期純利益	27.9	1.5%	56.0	3.0%	+28.1	+100.6%

25年度1-3Q連結売上高（対前年同期比）

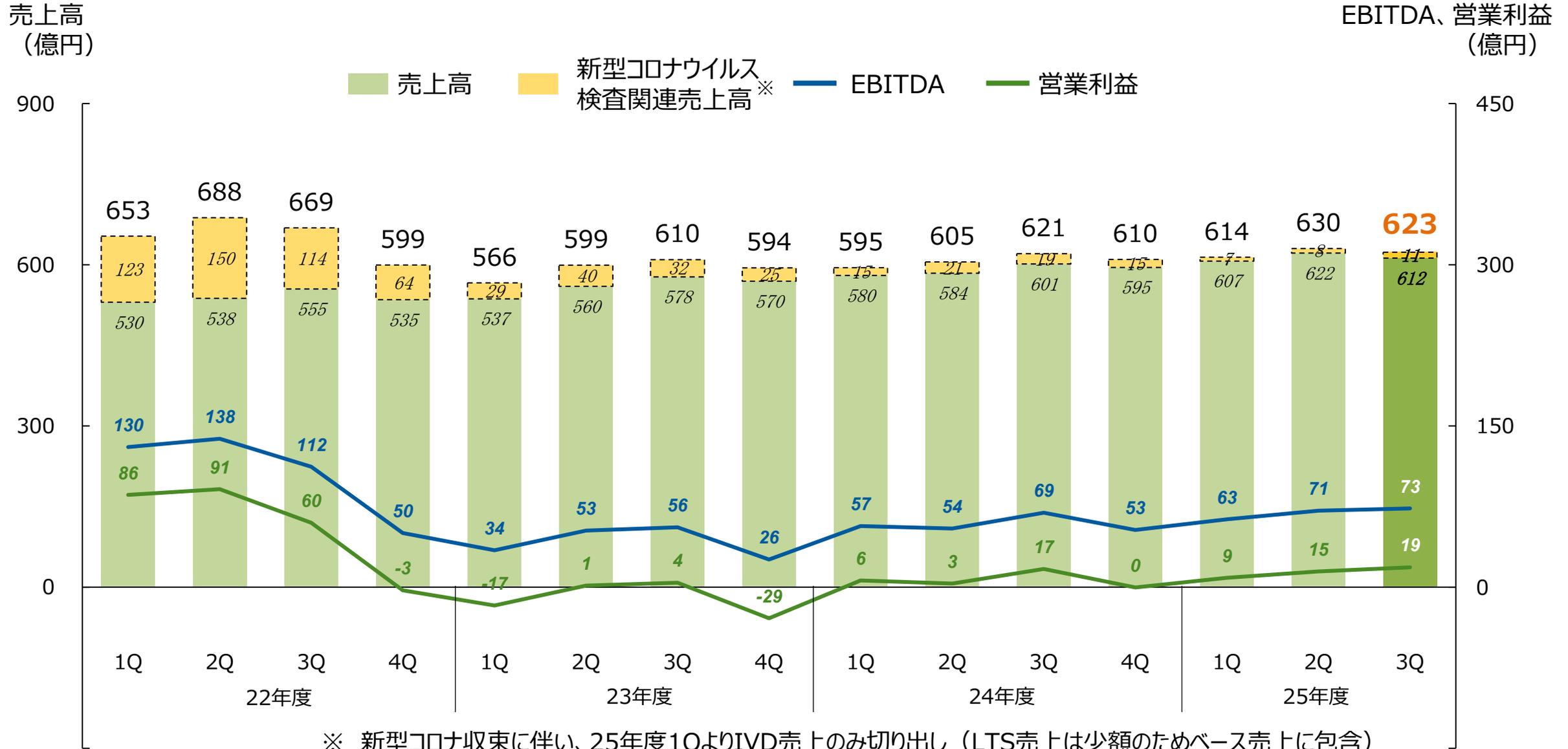


25年度1-3Q連結営業利益（対前年同期比）

(億円)



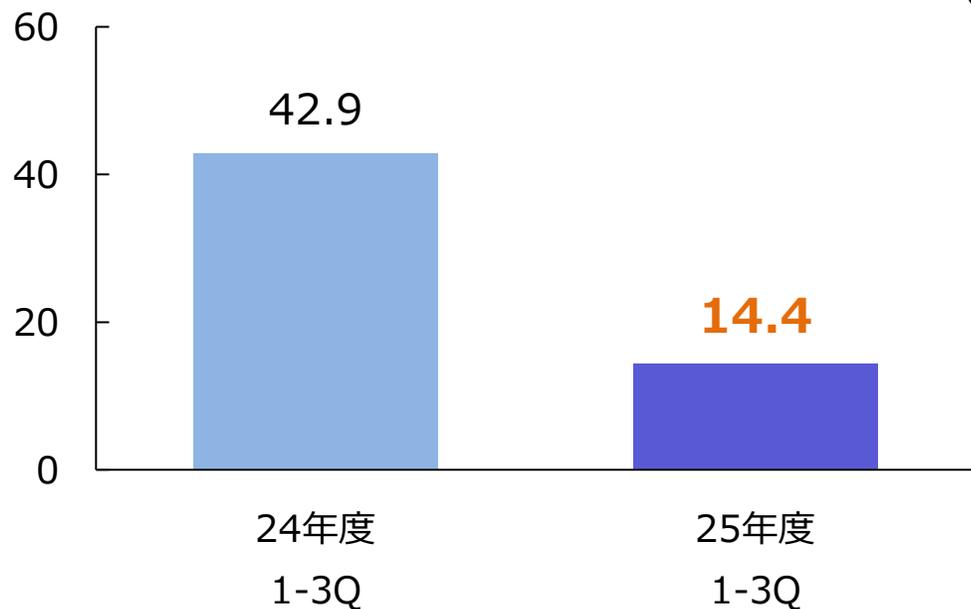
四半期毎の業績推移



連結経常利益および四半期純利益（対前年同期比）

経常利益

(億円)



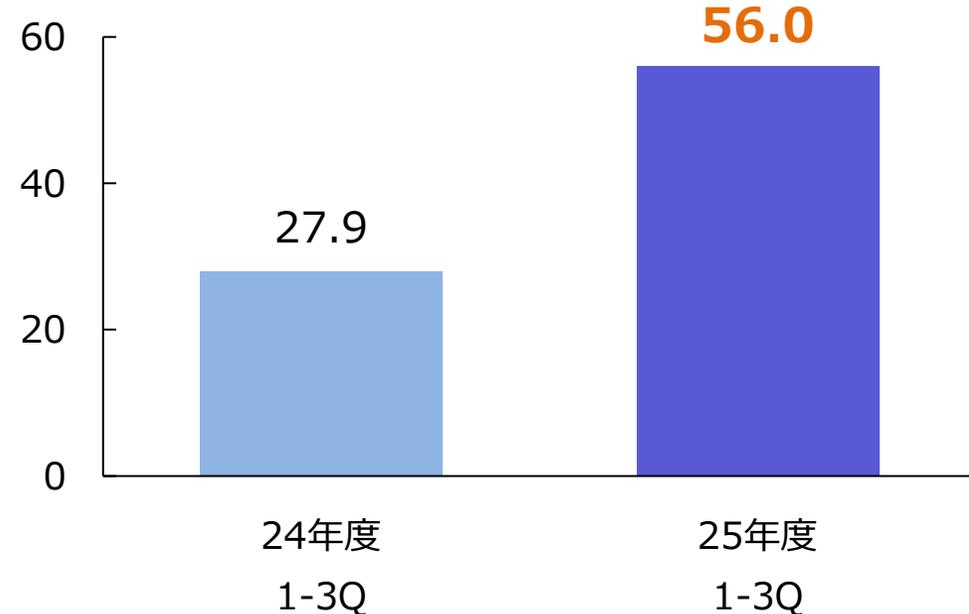
主な営業外損益

- ・持分法による投資損失（BMGL等） 18.1億円※
（前期：15.4億円【BMGL：11.0億円、平安JV：3.7億円】）
- ・為替差損 1.1億円
（前期 為替差益：5.2 億円）

※ 期末におけるBMGLの持分法投資損失は約9億円に縮小する見込み

四半期純利益

(億円)



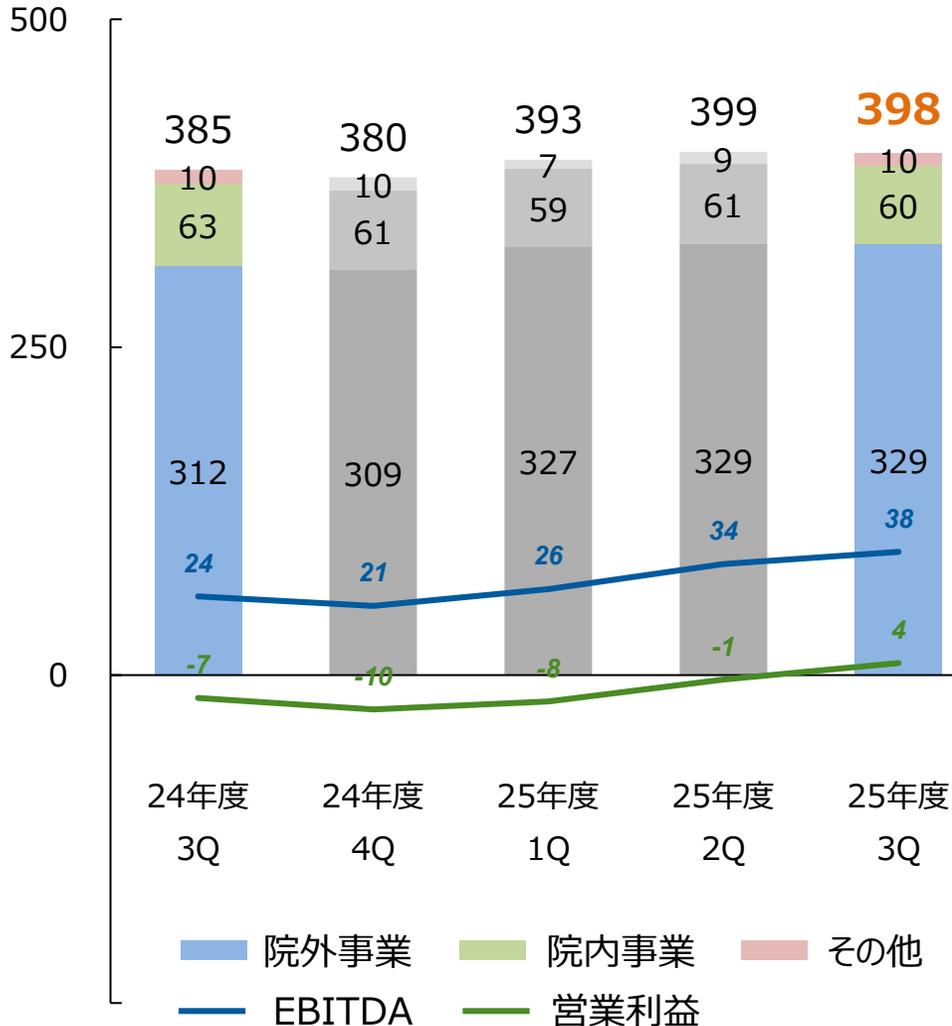
主な特別損益

- ・固定資産売却益 22.7億円
（京都府亀岡市の土地売却）
- ・関係会社株式売却益 39.3億円
（ケアレックスの株式譲渡）
- ・固定資産除却損 3.0億円
（SRL旧システムのシャットダウンに伴う除却）

LTS事業

四半期推移

売上高
(億円)



EBITDA
営業利益
(億円)

200

100

0

-100

対前年同期比

(億円)

	24年度 1-3Q	25年度 1-3Q	対前年同期比 増減	
売上高	1,150.6	1,190.1	+39.5	+3.4%
院外事業	935.7	984.4	+48.7	+5.2%
院内事業	186.5	179.9	-6.5	-3.5%
その他	28.4	25.8	-2.6	-9.3%
EBITDA 利益率	55.4 4.8%	97.7 8.2%	+42.3	+76.4%
営業利益 利益率	-35.9 -3.1%	-5.6 -0.5%	+30.3	-

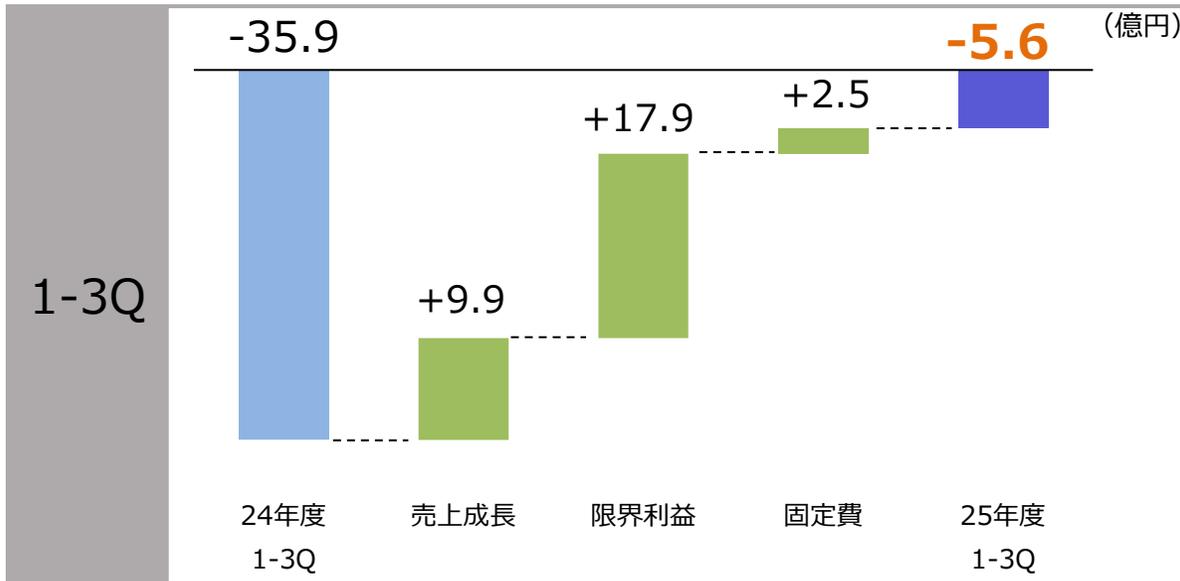
売上高

- 遺伝子関連検査 (+9%)、特殊検査 (+6%) の伸長

営業利益

- 増収による増益により3Qは黒字化
- 販売価格の適正化等、限界利益の増加
- 増加したH.U. Bioness Complex関連費用を固定費削減等でオフセット

LTS : 増益要因の分解 (前年1-3Q対比および3Q対比)



売上成長による増益

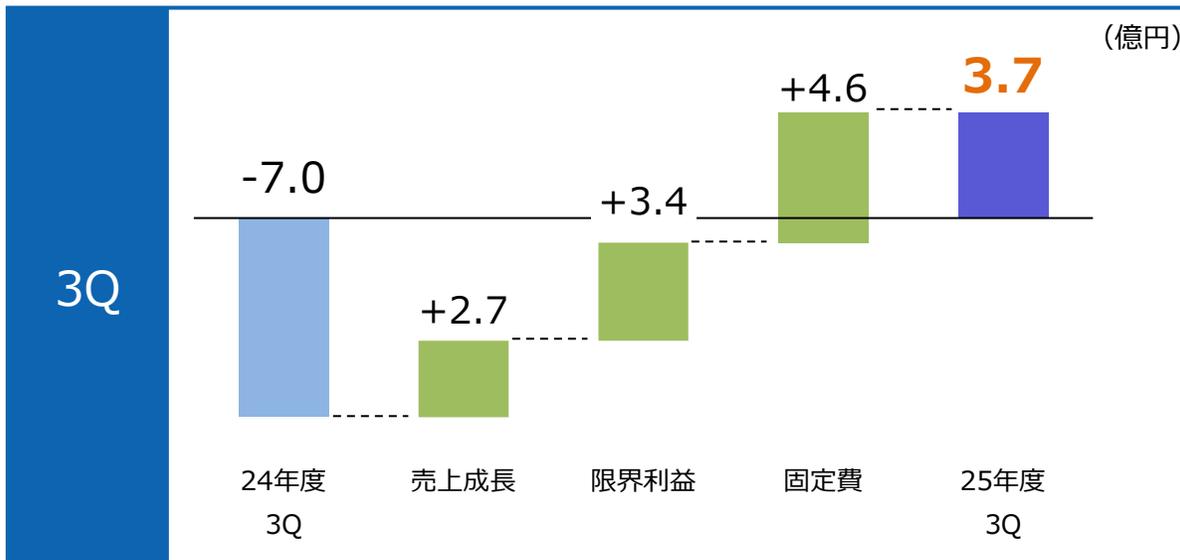
順調な進捗

- 特殊検査を中心とした成長

限界利益増加

順調な進捗

- 販売価格の適正化の効果発現
- 試薬・消耗品等仕入れ価格の上昇を一部抑制
- 完全稼働したH.U. Bioness Complexを中心とした継続的な検査オペレーションの改善



固定費削減

施策の進捗に遅れはあるものの、固定費削減の効果が徐々に発現

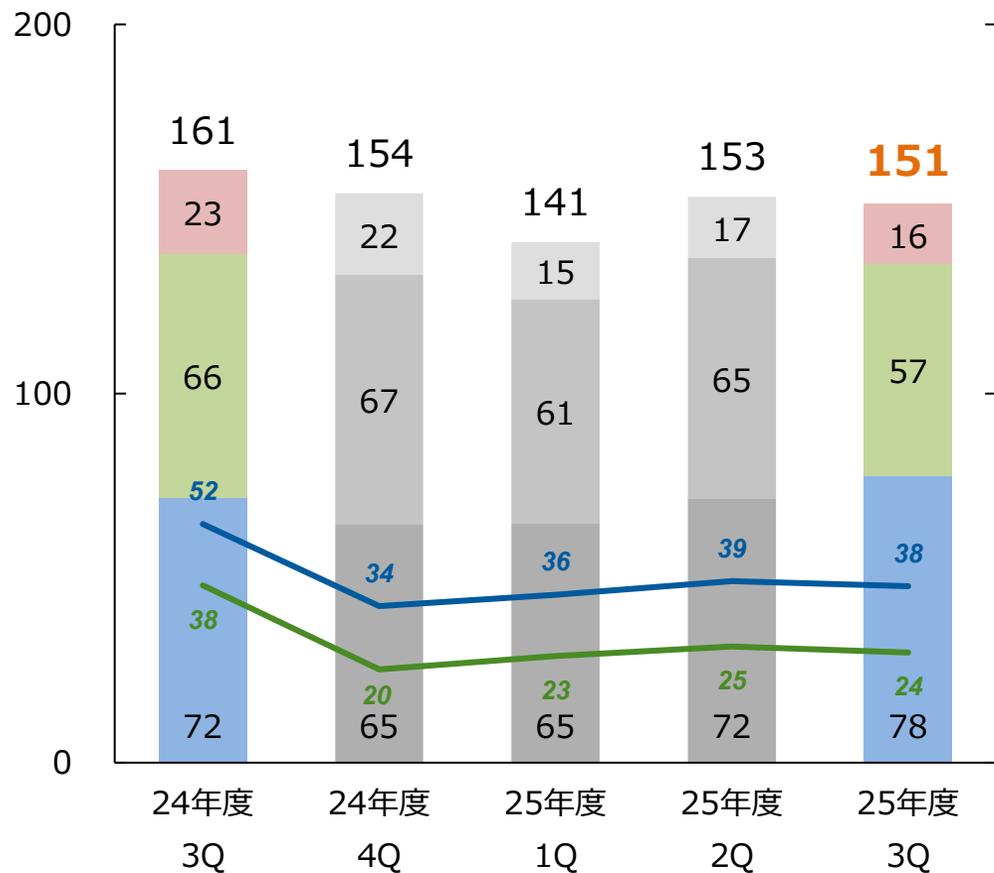
- H.U. Bioness Complex関連コスト（減価償却費、ランニングコスト）は増加
- 3Qには上記増加コストを人件費・業務委託費の削減で相殺※

※ 青字は3Qの要素

IVD事業

四半期推移

売上高
(億円)



■ ルミパルス事業 ■ CDMO・原材料供給事業
■ その他製品 — EBITDA — 営業利益

EBITDA
営業利益
(億円)

160

80

0

対前年同期比

(億円)

	24年度 1-3Q	25年度 1-3Q	対前年同期比 増減	
売上高	450.7	445.6	-5.1	-1.1%
ルミパルス	195.6	214.2	+18.6	+9.5%
国内	151.9	143.1	-8.8	-5.8%
海外	43.7	71.1	+27.5	+62.8%
CDMO・原材料	191.0	183.2	-7.8	-4.1%
その他	64.1	48.2	-15.9	-24.8%
EBITDA 利益率	133.0 29.5%	113.9 25.6%	-19.1	-14.3%
営業利益 利益率	93.2 20.7%	72.1 16.2%	-21.1	-22.6%
ルミパルス 内販売売上高	27.8	26.1	-1.7	-6.2%

売上高

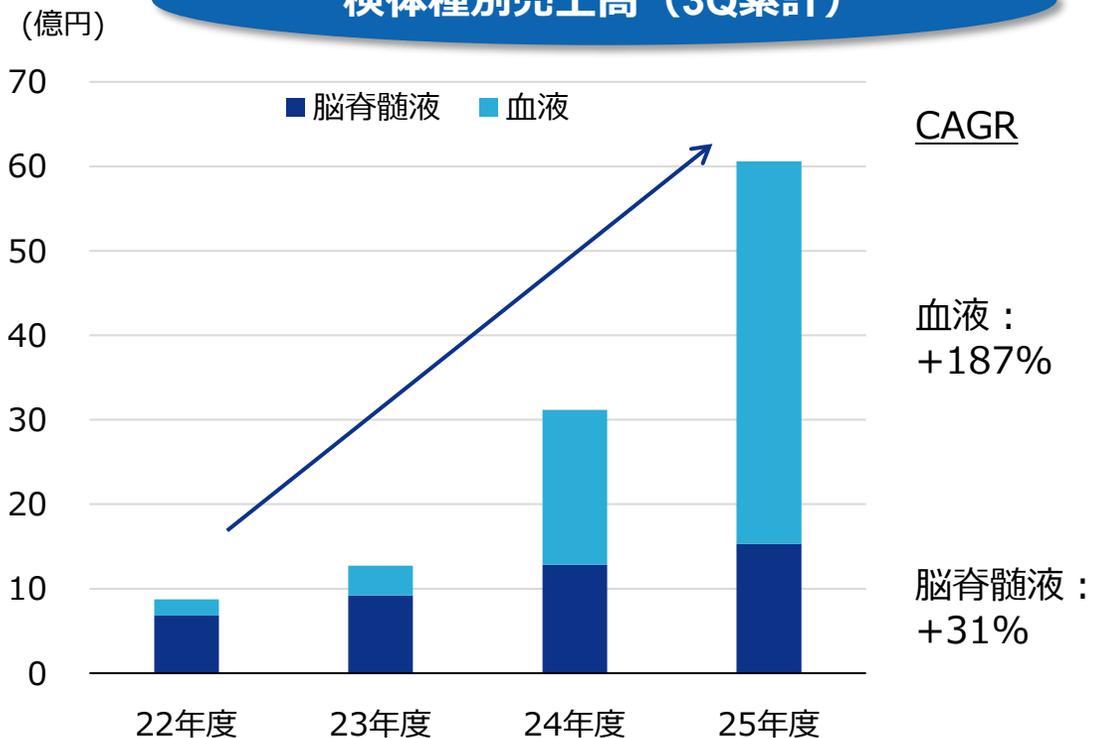
- ベース事業はNEUROを中心に成長
 - ・ NEURO(海外ルミパルス) : 約60億円 (YoY 2倍)
 - ・ CDMO事業は海外市場の環境変化影響により減収
- 新型コロナウイルス関連 : 約26億円 (前年同期:約44億円)

営業利益

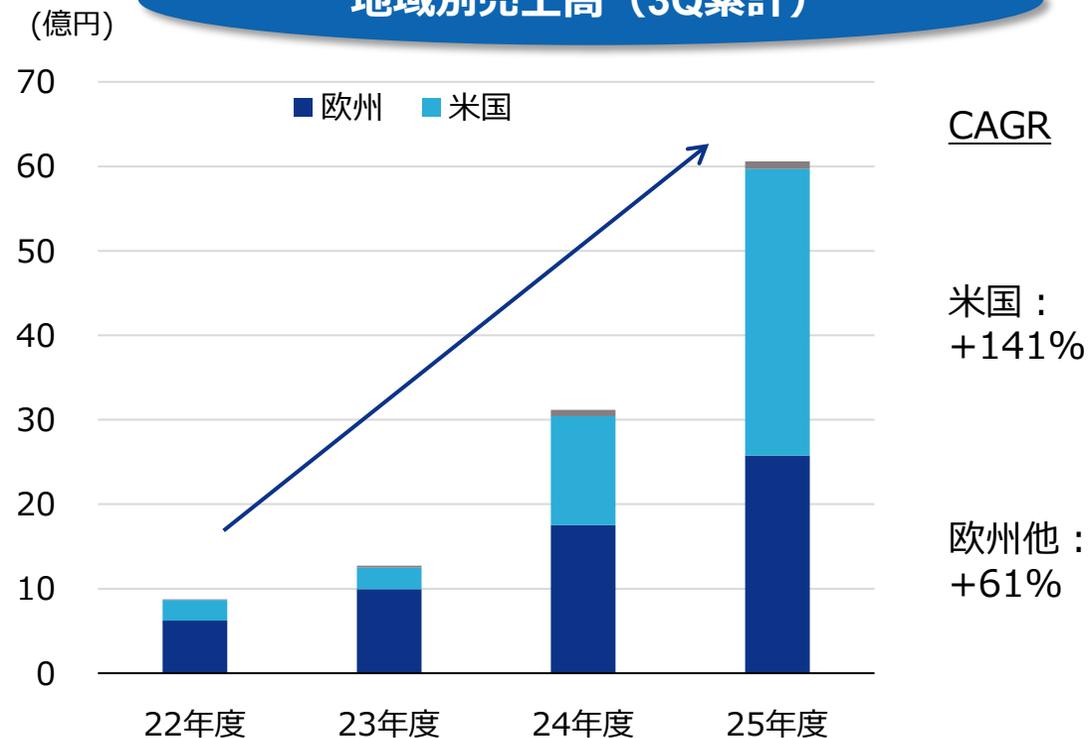
- M&A関連費用 (4.7億円)
- 製品ミックス変化により営業利益率が低下
為替影響 (売上高 : -3.0億円、営業利益 : -0.4億円)

IVD : NEURO概況

検体種別売上高 (3Q累計)



地域別売上高 (3Q累計)



- 血液試薬が全体の成長を牽引。米国・欧州における需要が成長 (CAGR +90.7%※)
- 今後の成長加速に向けた施策を実行 :
 - ✓ 日本で薬事申請完了 (25年11月)、欧州も薬事申請を準備中 (26年3月見込み)
 - ✓ 当社が販売していない国・地域において、シスメックス社と販売協業を開始 (2/5 プレスリリース済み)

※3か年 (2022年度~2025年度)

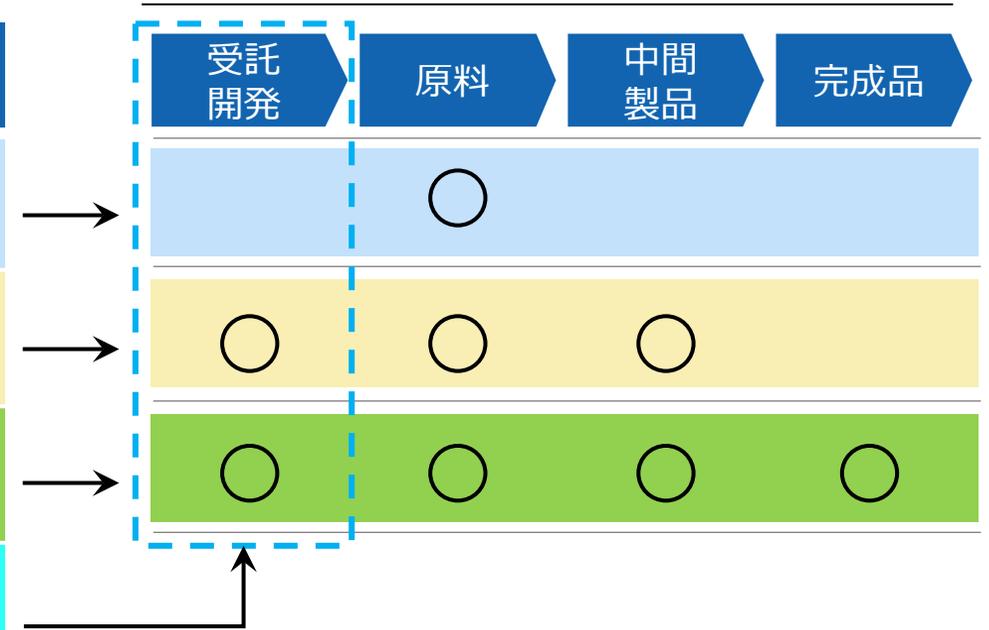
IVD : CDMO製品ミックス

- 今年度はCDMOの製品ミックスが変化したことにより、利益率が低下
- ミックス変化は、当社パートナーにおける中国での需要変化が主要因と推測

CDMO売上高（セグメント別の内訳）

売上高 (億円)	24年度 1-3Q	25年度 1-3Q	前年比	粗利率
原料供給 (既存)	87	77	▲10	高
原料・中間製品 (新規)	3	7	+4	中
完成品	90	81	▲9	中
受託開発	11	13	+2	低
M&A (PSG社)	0	6	+6	中
合計	191	183	▲8	

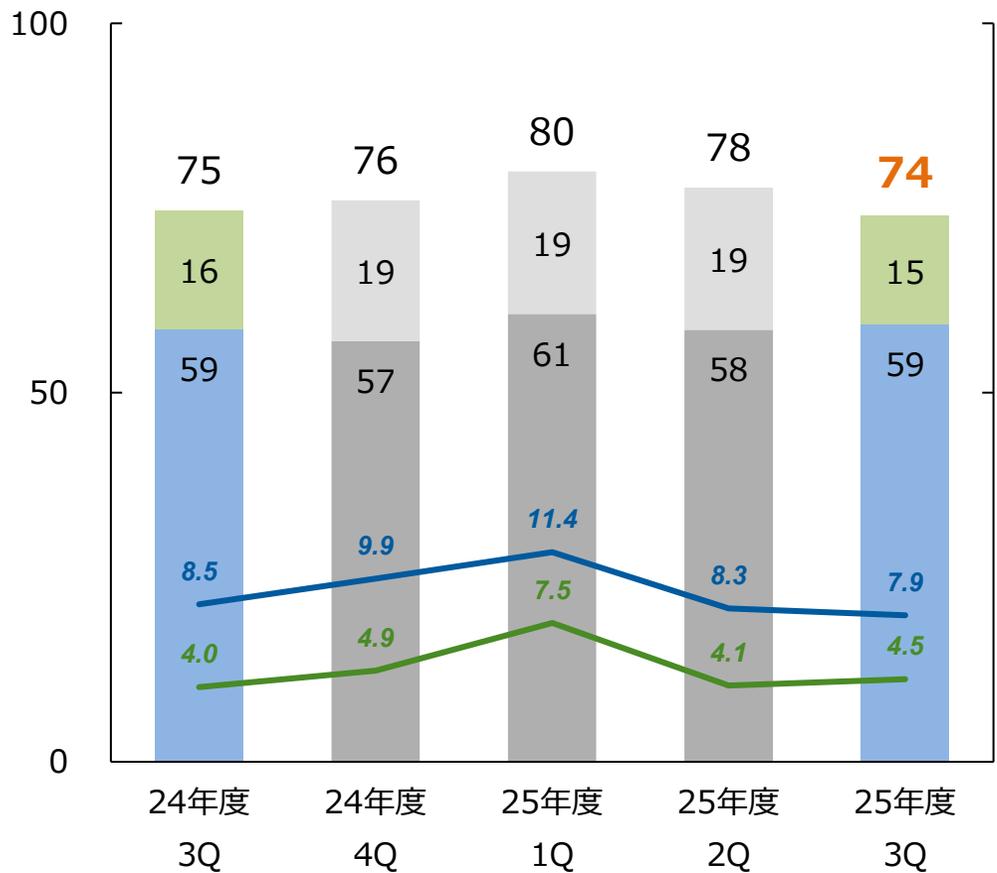
当社のCDMOモデル



HS事業

四半期推移

売上高
(億円)



■ 滅菌・手術関連事業 ■ 在宅・福祉用具事業
— EBITDA — 営業利益

EBITDA
営業利益
(億円)

対前年同期比

(億円)

	24年度 1-3Q	25年度 1-3Q	対前年同期比 増減	
売上高	219.2	231.6	+12.4	+5.7%
滅菌・手術関連	172.0	178.3	+6.4	+3.7%
在宅・福祉用具	47.2	53.2	+6.0	+12.8%
EBITDA 利益率	25.4 11.6%	27.6 11.9%	+2.2	+8.7%
営業利益 利益率	12.8 5.9%	16.1 7.0%	+3.3	+25.5%

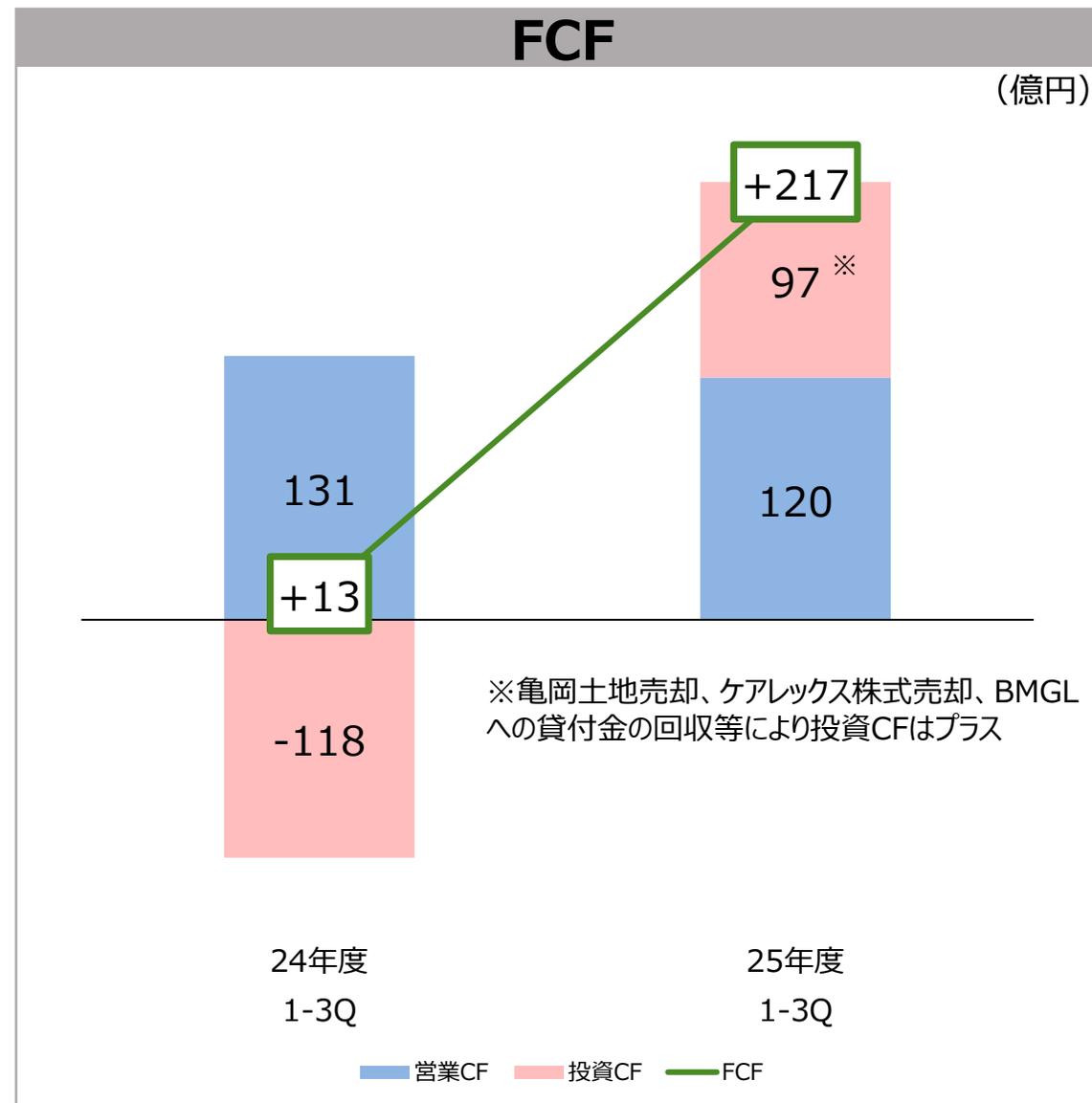
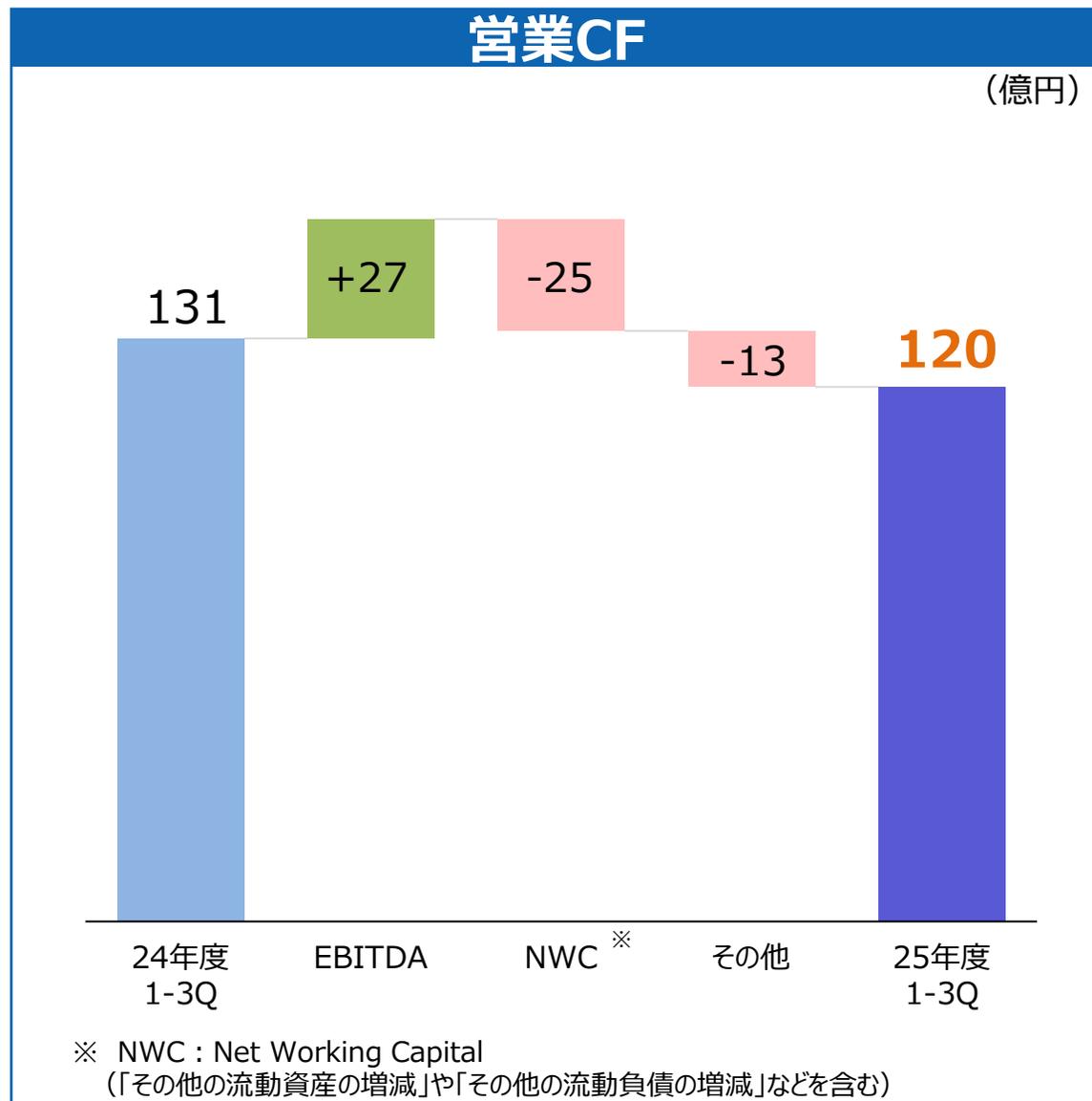
売上高

- 滅菌・手術関連事業
 - ✓ 堅調に推移
- 在宅・福祉用具事業
 - ✓ 2024年12月から連結子会社化したガイアメディケアの売上寄与
 - ✓ ケアレックスの株式譲渡が2025年12月にクロージング(12月より持分法適用会社)

営業利益

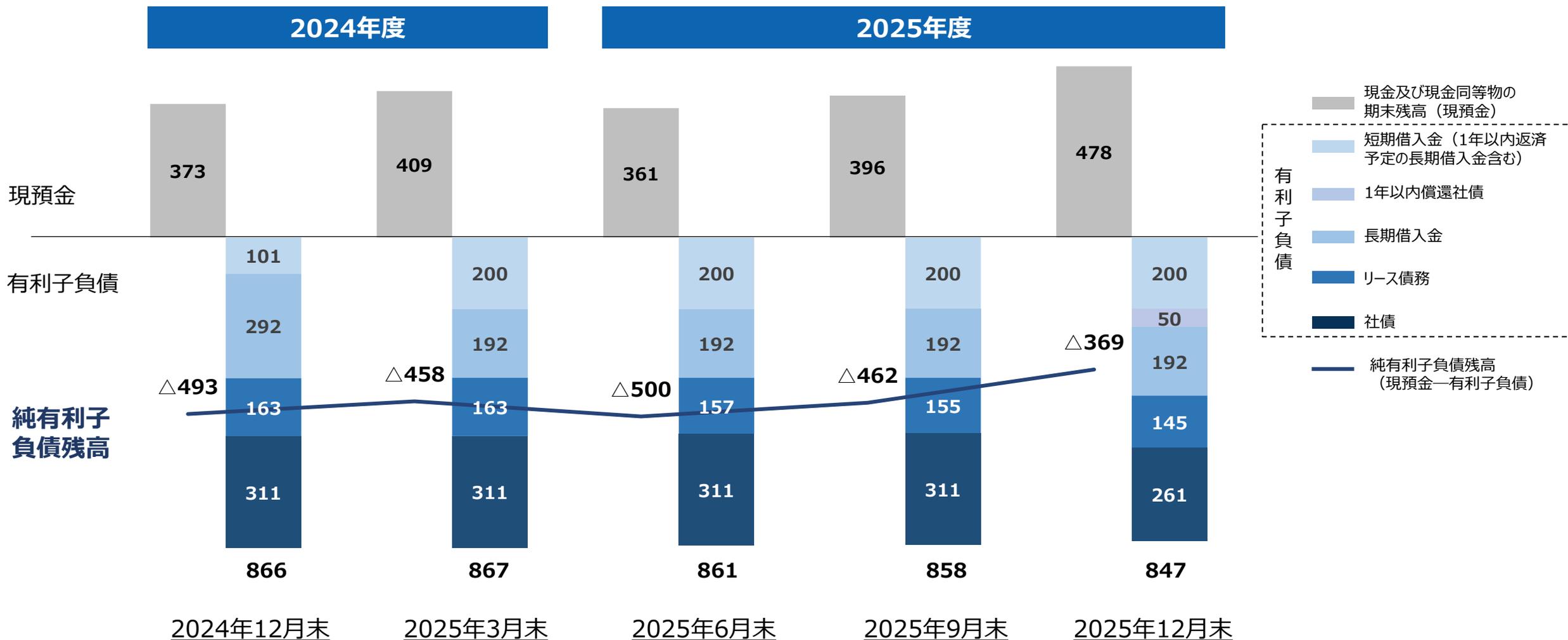
- 滅菌・手術関連事業の増収および価格の適正化による増益

2025年度連結キャッシュ・フロー（対前年同期比）



現預金・有利子負債残高

(億円)



【連絡先】

H.U.グループホールディングス株式会社

IR/SR部 ir@hugp.com

将来見通しに関する注意事項：

資料中の業績見通し数値は、現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣による判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づき作成されたものです。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら業績見通しとは異なる結果となり得る事をご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢の悪化、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、新製品上市の遅延、競合会社の製品戦略による圧力、当社既存製品の販売力の低下、販売中止、等がありますが、これらに限定されるものではありません。